

総合的な学習の時間 夢の実現に向けて

1年1組

授業者 中嶋 健二

■ 単元の目標

- 職業や働くことについて考え、望ましい職業観を持つことができる。
- 小学生との交流を通して、自分達の現在の生活を振り返り、将来に向けての進路への関心を高める。

■ I C T 活用の視点

○ 思考を促す道具としての ICT の活用

小学校での取り組みについて発表を聞いたり、自分たちの学習や生活の様子を知らせるためにテレビ会議システムを使う。テレビ会議システムは、離れた場所でもリアルタイムに話し合いができる、相手の反応を見ながら発表し合ったり、その都度意見の交換が可能である。また、授業時間内の特定の時間に活用し、それ以外は学級での話し合いやまとめを行うことができる。

○ 創造性を促す道具としての ICT の活用

テレビ画面を通して発表し合ったり、意見交換をし合うことで、話題を焦点化し集中させることができる。見られているということを意識した発表を通して、適度な緊張感を持って交流することができる。

○ 本時における ICT 機器の位置づけ

小学生と中学生の活動を紹介し合う活動を、離れた場所にいながら行うためにテレビ会議システムを活用する。

■ 本時の授業の概要

小学校でのみんなのためにできることの活動を聞いたり、自分たちの学習や生活のようす、職場体験学習の準備について発表したりする交流を行う。小学生との交流を通して、自分たちの活動を振り返る機会を作り、働くことの意味についてあらためて気づかせ、職業や働くことについて考える活動を行う。小学生との交流に当たって離れた場所でも発表し合えるようにテレビ会議システムを活用し、リアルタイムで意見交換ができるようにする。

| 学習活動 | 指導上の留意点 |
|---|---|
| 1. 本時のめあてを知る。 小学校との交流を通して、働くことの大切さを考えよう。 | テレビ会議の流れを確認する。 |
| 2. テレビ会議を行う。 (1) 小学校からの発表を聞く。 • 「みんなのためにできること」の活動発表 • 中学生への質問 | お互いに司会の児童や生徒が進行を行うようにする。 「みんなのためにできること」について実践してきた活動を発表してもらう。 |
| 3. 中学校からの発表を行う。 • 中学校の学習、生活、行事の様子 • 夢とこれからの進路 • 職場体験学習について • 質問に対する回答 | 行事については、準備の様子や実行委員の活動、達成感などについて触れるようにする。 |
| 4. 意見交換活動を行う。 | 職場体験の準備の様子や昨年の活動の写真などを紹介させる。 |
| 5. 司会の打ち合わせを通して司会同士の掛け合いができるよう支援する。 | 司会の打ち合わせを通して司会同士の掛け合いができるよう支援する。 |
| 6. 社会に貢献することや人と協力することの大切さにふれられるようにする。 | 社会に貢献することや人と協力することの大切さにふれられるようにする。 |
| 7. 小学生の発表を聞いて自分たちの活動を振り返るとともに、中学生の立場から小学生の活動を認める発言ができるよう支援する。 | 小学生の発表を聞いて自分たちの活動を振り返るとともに、中学生の立場から小学生の活動を認める発言ができるよう支援する。 |
| 8. 本時の活動を振り返り、働くことと人のためになること、社会貢献などについて考え、自分の考えをまとめる。 | 本時の活動を振り返り、働くことと人のためになること、社会貢献などについて考え、自分の考えをまとめる。 |
| 9. 職場体験学習に向けて意欲付けを行う。 | 職場体験学習に向けて意欲付けを行う。 |